

高等小學

書目

第一學年用上甲種

K140.72
2.11
1上b

K140.72

2.11

1上b



高等小學書方手本

第一學年用上甲種

文部省

豐華原瑞穗國寶。

高甲上

祚之隆天壤無窮。

高甲上

秋の日は山の端近し暮れぬ間に
母に見えなん歩め我が駒。

高甲上

埋火のあたりのどかにはらからの
まるとるせし夜ぞ戀しかりける。

高甲上

朋友仇敵利害談

五

高甲上

笑歡樂富貴榮華

六

高甲上

故郷の慕はしきは祖先墳墓の地にして我が幼時
嬉戯せし處なればなり。祖先幾代此處に生活し
永く此處に眠れるを思へば無心の山河も自ら

情あり。我が嬉戯せし幼時の樂しき記憶をおもひ
起せば木石知友の感なくんばあらず。況や父母
妻子兄弟姉妹親族故舊の我を待つあるに於ても也。

御申越の儀承知致供早速先方へ回答の上

九

高甲上

當方より何分のは挨拶申上ぐぐく修不一

十

高甲上

智と徳とは兩つながら併行せざるべからず。才學ありとも心下劣にして行賤しければ人の尊敬を

十一

高甲上

受くること能はず。いかでか世を指導するを得んや。學を修むるものは亦必ず其の徳を磨くべし。

十二

高甲上

島津。毛利。長曾。我。

部。加藤。藤堂。京極。

矛。盾。槍。薙。刀。甲。冑。

十五

高甲上

鏡。劍。空。中。飛。行。機。

十六

高甲上

對馬津輕宗谷舞

高甲上

鶴敦賀浦潮斯德

高甲上

十

十

英吉利。獨逸。佛蘭。

西露西亞。伊太利。

雲路おかぬ方もありけり夕立の空
よりひろき武蔵野の原。我が
いはは松原つゞき海近く富士の

高根を軒端にぞ見る。急がずば
ぬれぎらましを旅人のあと
より霽る野路の村雨。

半紙半帖。扇子一對。屏風二雙。掛物
三幅。木杯一組。金子壹封。證書貳

通株券參枚。手拭一筋。足袋二足。
吸物椀二十人前。臺所道具一式。

資本流動。固定。生。

產。營利。規。模。擴。張。

野卑。温雅。寡言。多。

二十七

高甲上

辯沈默。應答抑揚。

二十八

高甲上

巧言令色鮮し仁。君子は言に訥に
して行に敏ならんことを欲す。己の

欲せざる所人に施す勿れ。河海は細
流を擇ばず故に能く其の大を成す。

病菌傳染隔離法。

療消毒預防種痘。

秦築長城比鐵牢。
蕃戎不敢過臨洮。

三十三

高甲上

烏知萬里連雲勢。
不及堯階三尺高。

三十四

高甲上

唯々到着致候凡そ一週間位滞在
の旨には座候いづれ其の中 泰堂

例の件 委細は話申上度と存
居候取致はずは報まで尊々

廉潔克己。忍耐謹。

讓從順。嚴格懲戒。

W180/P2-211-158

大大大
正正正
三三三
年年年
十十十
二二二
月月月



二十十
十五四二
日日日
翻翻修
刻刻正
發印發
行刷行

發
賣
所

大正三年十二月十六日
文部省檢査濟

東京市日本橋區新地十六番地
印刷所
株式會社

高等小學書
本第一學用上甲種

定價金參錢

著者兼
發行所

文部省
高部
秩父

翻刻者
發行所

東京市日本橋區新右衛門町十七番地
日本書籍株式會社

印刷者
印刷所

東京市日本橋區通一丁目十九番地
大倉保五郎

國定教科書
共同販賣所

